

1. 科目名 (単位数)	保育内容総論Ⅱ (2 単位)	3. 科目番号	SJMP4130
2. 授業担当教員	和崎 光太郎		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	「保育内容総論」の授業内容をふまえて、その応用、発展的な学習を目指す。幼稚園実習及び保育所実習の経験を活用させ、グループワークを取り入れながら現場の保育内容について検証する。また、保育内容に関する知識・理解を深めるために、様々な保育実践事例を取り上げ、事例から子どもの発達の可能性を見いだす視点を養うと共にその保育内容について総合的に検証・評価する。		
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもをとりまく社会的状況を理解し、説明することができる。</li> <li>・幼稚園実習及び保育所実習経験をふまえて現場の保育内容を検証することができる。</li> <li>・よりよい保育内容を構築するための環境構成、指導・援助について考察することができる。</li> <li>・様々な保育実践事例を通して、子どもの発達や学習の可能性を考察し、議論することができる。</li> <li>・保育全体への視野を広げ、保育内容を総合的に検証・評価する力を身につける。</li> </ul>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	宿題に関して、授業中に適宜ノートの確認を行い、授業後にノートを提出する (課題の確認)。期末レポートの内容は幼稚園実習・保育実習を保育内容を中心として総括するものであり、具体的には授業中に提示する。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書 (この 2 冊は必ず授業に持参)】</p> <p>関口はつ江監修・太田節子編『Q&amp;A で学ぶ保育・教育実習』サンウェイ出版 ※下記「14」における「教科書」とはこの本のことを指す。 文部科学省「幼稚園教育要領」(平成 29 年 3 月告示)</p> <p>【参考書】</p> <p>東京福祉大学編『保育児童福祉要説 第 5 版』中央法規 厚生労働省「保育所保育指針」(平成 29 年 3 月告示) 内閣府「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成 29 年 3 月告示)</p> <p>※自分の実習記録 (幼稚園実習・保育所実習)、ノートを必ず授業に持参すること。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼稚園実習及び保育所実習経験をふまえて現場の保育内容を検証することができるか。</li> <li>2. よりよい保育内容を構築するための環境構成、指導・援助について考察することができるか。</li> <li>3. 様々な保育実践事例を通して、子どもの発達や学習の可能性を考察し、議論できるか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加態度、課題への取り組み、レポート等を総合して評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 積極的授業態度 総合点の 30%</li> <li>2 課題への取り組み 総合点の 30%</li> <li>3 期末レポート 総合点の 40%</li> </ol>		
12. 受講生へのメッセージ	この授業では、自分の実習経験に基づいて、保育内容が実践の場でどのように活かされるかを振り返り、「3つの柱」・「5領域」・「10の姿」などの視角から現場をとらえなおす。「事前学習」と「事後学習」は必ずやってくる (計 180 分)。やってきている前提で、授業中にグループワークを行う。「事前学習」における熟読とは、他者に説明できるくらい深く内容を理解することを意味する。		
13. オフィスアワー	授業中に提示する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション (授業概要・学習の説明) 実践からの保育の学び①: 保育者の専門性についてグループワーク (「教科書」第 1 章第 1 節)	事前学習	シラバスを読む 「教科書」第 1 章第 1 節を熟読 (購入済の場合)
		事後学習	保育者の専門性という視点から、自分の実習記録を読み直す。
第 2 回	実践からの保育の学び②: 実習の意義についてグループワーク (「教科書」第 1 章第 2 節)	事前学習	「教科書」第 1 章第 2 節を熟読し、自分の実習経験に基づいて考えたことと新しい気づきをノートにまとめてくる。
		事後学習	授業内容をもとにノートをブラッシュアップ
第 3 回	実践からの保育の学び③: 実習の実際についてグループワーク (「教科書」第 2 章 1.8~2.6)	事前学習	「教科書」第 2 章 1.8~2.6 を熟読し、自分の実習経験に基づいて考えたことと新しい気づきをノートにまとめてくる。
		事後学習	授業内容をもとにノートをブラッシュアップ
第 4 回	実践からの保育の学び④: 保育現場の理解についてグループワーク (「教科書」第 2 章第 3 節)	事前学習	「教科書」第 2 章第 3 節を熟読し、自分の実習経験に基づいて考えたことと新しい気づきをノートにまとめてくる。
		事後学習	授業内容をもとにノートをブラッシュアップ
第 5 回	実践からの保育の学び⑤: 実習の心構えについてグループワーク (「教科書」第 2 章第 4 節)	事前学習	「教科書」第 2 章第 4 節を熟読し、自分の実習経験に基づいて考えたことと新しい気づきをノートにまとめてくる。
		事後学習	授業内容をもとにノートをブラッシュアップ
第 6 回	実践からの保育の学び⑥: 子どもとの関わり方についてグループワーク (「教科書」第 3 章第 1 節)	事前学習	「教科書」第 3 章第 1 節を熟読し、自分の実習経験に基づいて考えたことと新しい気づきをノートにまとめてくる。

		事後学習	授業内容をもとにノートをブラッシュアップ
第7回	実践からの保育の学び⑦：実習記録の活かし方についてグループワーク（「教科書」第3章第2・3節）	事前学習	「教科書」第3章第2・3節を熟読し、自分の実習経験に基づいて考えたことと新しい気づきをノートにまとめてくる。
		事後学習	授業内容をもとにノートをブラッシュアップ
第8回	事例の検討とグループワーク①（「教科書」第5章1.1～1.3）	事前学習	「教科書」第5章1.1～1.3を熟読し、自分の実習経験に基づいて考えたことと新しい気づきをノートにまとめてくる。
		事後学習	授業内容をもとにノートをブラッシュアップ
第9回	事例の検討とグループワーク②（「教科書」第5章1.4～1.7）	事前学習	「教科書」第5章1.4～1.7を熟読し、自分の実習経験に基づいて考えたことと新しい気づきをノートにまとめてくる。
		事後学習	授業内容をもとにノートをブラッシュアップ
第10回	保育実践を領域「健康」・領域「人間関係」の視点からとらえる（「教科書」P160～実習記録Ⅰ・Ⅱ）	事前学習	「幼稚園教育要領」第2章「健康」「人間関係」を熟読
		事後学習	領域「健康」・領域「人間関係」に着目して実習記録Ⅰ・Ⅱの「振り返り」を作成（提出期限は授業中に伝える）
第11回	保育実践を環境構成および領域「環境」の視点からとらえる（「教科書」P160～実習記録Ⅰ・Ⅱ）	事前学習	「幼稚園教育要領」第1章第1・第2章「環境」を熟読
		事後学習	環境構成および領域「環境」に着目して実習記録Ⅰ・Ⅱの「振り返り」を作成（提出期限は授業中に伝える）
第12回	保育実践を領域「言葉」・領域「表現」の視点からとらえる（「教科書」P160～実習記録Ⅰ・Ⅱ）	事前学習	「幼稚園教育要領」第2章「言葉」「表現」を熟読
		事後学習	領域「言葉」・領域「表現」に着目して実習記録Ⅰ・Ⅱの「振り返り」を作成（提出期限は授業中に伝える）
第13回	保育実践を3つの柱・10の姿からとらえる（「教科書」P162～実習記録Ⅰ・Ⅱ）	事前学習	「幼稚園教育要領」第1章第2を熟読。
		事後学習	3つの柱・10の姿に着目して実習記録Ⅰ・Ⅱの「振り返り」を作成（提出期限は授業中に伝える）
第14回	指導計画の検討とグループワーク（「教科書」P167～指導計画Ⅰ・Ⅱ）	事前学習	「教科書」P167～指導計画Ⅰ・Ⅱを読み、考えたことと改善点をノートにまとめてくる
		事後学習	授業内容をもとにノートをブラッシュアップ
第15回	これまでの振り返り	事前学習	「教科書」で学習が不十分だと思うところを重点的に読み直す
		事後学習	ノートを仕上げる